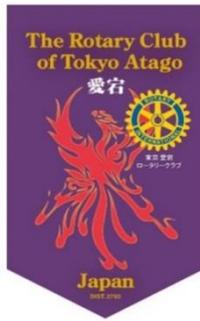


No. 22 2015/1/6

WEEKLY REPORT 2014~2015



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
副会長 波多野まみ
例会場 東京アメリカンクラブ
例会日 毎週火曜日 8:00~

2015年1月6日(火)
本日のプログラム

今年度第23回(通算59回)例会
年次総会・第3回クラブ協議会

■2014年12月16日 会長挨拶
会長 尾関勇

今日の例会は、2014年度最後の例会になります。ロータリー年度ではちょうど半期となります。昨日のグループ協議会でも話がありましたが、各クラブとも会員増強がテーマにあります。私共は有り難くも会員増強させていただき、どうやっているのかと羨ましく思われることがあります。やはり根本はお金を払って給料ももらわず奉仕活動を行うわけですので、そのクラブに参加したいという御本人のモチベーションがないと続けられないと思います。ロータリーの転換期と言えましょう。先日の六本木RC10th記念例会で、台湾の桃園RCから20人程いらしていましたが、4日ほど前に参加表明があったそうです。日本人には馴染まないですが、それも考え方や文化の違いで、六本木RCは是非、とステージを広げ受け入れられていました。そういったものを是とするのか、規約通り頑なにに行くのか。そもそもロータリーはフレンドシップというものが根底にあるので、どれだけの柔軟性を持ってことをなしていくのかも非常に大事な点かと思えます。愛宕RCも奉仕の元に皆さんの生活がきちんと行われ、見返りもあるように、クラブ運営ができていければと思います。

本日は無事に1年間ロータリー活動ができた御礼に、愛宕神社へ朝一番に行き、また1月6日年始の参拝に参ります。なぜ始めと終わりに行くかというと、神社の狛犬もそうですが、阿吽、あから始まりんで終わる、最初と終わりが大切で、氏神様には最後の日と初詣の参拝に行きます。来られる方は、1月6日7時に集合してください。その後、先日の箱根への移動例会時に人数が少なくできなかった年次総会を開催いたしますので、よろしく願いいたします。

< 12月16日の卓話 >

UNIQUEASE(ユニカセ) Corporation

General Manager

中村 八千代様

Ms. Rhea C.DELOS REYES (レアさん)

Ms. Maribeth G.Berdejo (マニベスさん)

フィリピンにあるUNIQUEASE(ユニカセ) CorporationのGeneral ManagerとNPO法人ユニカセ・ジャパンの理事長を務めさせていただいております。この12月、代表者2名を連れてきております。マニベスは23歳になったばかり、ソルトファンデーションというNGOより紹介を受けました。第1期生、6年前から働いてもらっています。現在は接客部門のチーフです。レアは24歳、第3期生になります。ワールドヴィジョンという団体から独立した市民団体、インプルー

~四つのテスト~

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

ブより紹介を受けました。現在はクッキングのチーフを務める傍ら、フェアトレードのお土産コーナーも担当しております。フィリピンの現状とチルドレンアットリスクというキーワードを説明させていただき、子供の支援、その背景から誕生したユニカセについてお話させていただきます。36名程の日本の学生さんにも協力頂いたゆるキャラ、ユニカセペアも紹介いたします。

様々な危険にさらされた子供たちが生まれてきた背景をご説明いたします。9,000万人のフィリピンですが、生まれても戸籍の無い子供も多く、1億人以上と言われている。失業率は34%を超え、非常に高い状況です。また相続税が無いため、お金持ちはお金持ちのまま、貧困層に生まれたら貧困層のままという構図ができてしまい、1%の人口の人々が90%の富を占めていると言われることもあり、非常に貧富の差が激しい国です。2006年にNPOで赴任したのがきっかけですが、高層ビルが立ち並ぶ東京の八重洲にあたるマガティ市もあれば、30分~2時間行くとコミュニティと言われている貧困地域があります。路上での生活を強いられているストリートチルドレン、時には人身売買、しかも親が子供を売ってしまう、育児放棄、虐待を受けたり、児童労働もあります。アウトオブスクールユース(OSY) 貧困層に生まれてしまったがゆえに学校を中退することとなった子供達等、NGOが保護しています。レアとベスはOSYのカテゴリーに属しています。マニベスさん) 11歳で父が病気になる、生活に苦しみました。8人兄弟の2番目なので、勉強をする機会を諦めざるを得なくなりました。過去の問題でなく、今の状況に変化を起こしたいと思うようになり、4年前にユニカセに参加しました。今は接客のチーフとして希望を持ち、未来に向かって頑張っています。働きながら貯金を続け、勉強する夢を持っています。大学進学し、マーケティングを学ぶ夢を持っています。ユニカセを安定させ、後輩たちに引き継いでゆくことをしたいと思っています。ボランティアとして関わり続け、恩返しもしたいです。将来的には、3歳になる息子もいますので、自分のカフェを持っていきたいです。

レアさん) 幼少期はそれほど難しい問題に直面していたわけではありません。17歳の時、父ががんで亡くなりました。5人兄弟の長女なため、家族を養うという事で仕事を探しました。甘やかされ依存していたので、どうやって生きていけばいいかわからない、食べるものもなくなりました。家族を養うため、自立しなければと思い、ユニカセに入り、接客を学びました。4年が経ち、自分たちの生活も安定、2歳になる娘を持つワーキングマザーとなっております。

この二人は様々なケースの一握りであり、こういった青少年たちがたくさんおります。NGOが一生懸命ケアをしてくれていますが、中々現状に結びつかない部分もあります。ここまで育ててあげる、卒業させてあげることができず、大学となるとかなりの金額が一人一人に

かかってしまうのです。ですが企業さんは、当然即戦力になる人材、大学を卒業している人を選びます。そこでギャップが生まれるのです。弊社の取り組みは、学歴は関係なく、やる気のある子にはチャンスを与えようという根本があります。

UNIQUEASE（ユニカセ）はユニークという英語にカセというタガログ語を合わせ、「Because we are unique」という意味になります。私以外のユニカセ構成員は、NGOさんでお世話になったチルドレンアットリスクの過去を持つ青少年たちが仕事をしたいということで紹介され来ています。問題に直面している子たちも、自立の為逃げずに懸命に働くことをサポートしているのがユニカセです。世界でも稀な、ユニークな社会企業とされています。弊社のビジョンですが、ベスを含めた第1期生と自分の過去や現在の問題をみんなでシェアし、そういったバックグラウンドを持っているからこそ、将来どのような社会になっていきたいか、というテーマで60時間くらい話し合った結果を文章にしたのが、私共の経営理念となっております。チルドレンアットリスクの子供たちを1人でも多くなくしたいという思いを掲げて仕事に取り組んでいます。人材育成を家庭で教わるしつけの部分から始めます。これは一人で1年位かかります。同時にカフェレストランですので、健康を維持する、持続可能な生活を整えていこうというコンセプトで食を通じて商品を提供させていただいております。3つ目は、彼女たちがお世話になったNGOさんたちに恩返しをしたいということで、ケアを受けている子供たち20人くらいをレストランに呼び、ランチを提供したり、CSRイベントを行ったりしています。2010年5月に登録し8月8日からレストランがオープンし、4年半で42名採用したことになっています。日本の学生さん36名を含めたインターンを38名受け入れました。日本への出張は今回で3回目で、二人とも今回2回目の来日です。ユニカセレストランは株式会社でフィリピンで登録しておりますので、売り上げから彼女たちのお給料や

家賃、光熱費を払っております。不安定な背景を持つ子供たちが多く、突然トラウマ症状を起こしたりとモチベーションをキープするのがチャレンジな部分です。どうやったらキープできるか話し合ったところ、やはり自分たちは学校に通えない過去があるので、新しいことを学んだり、挑戦をさせてほしいというような話がありましたので、出張やヒーリング効果のある陶芸ワークショップを行ったりしています。作ったお皿でお客様に提供しています。このような取り組みは少し経費が掛かります。それは収入から補うだけでは達していないので、NPOユニカセ・ジャパンを設立し、ご寄付を募って、彼らの青少年トレーニングプログラムへ補填させていただき、二つの団体に維持しております。

今後の計画として、パートタイムの子供たちを増やしていとも、と話しています。フルタイムですと時間が大変かかってしまうので、少しでも多くの子に仕事に慣れていってくれるように人材を紹介してもらおうという取り組みで考えています。現在のレストランの家賃があまりにも高いため、いずれは自社物件を持つためにも、資金調達に力を入れていく計画です。皆様方にもご協力いただければ幸いです。

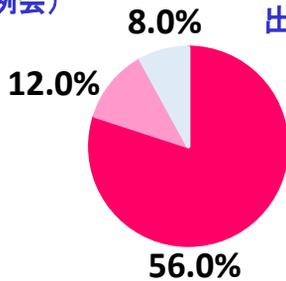


◆◆ 出席報告 ◆◆

2014年12月9日(移動例会)

出席状況

- ・会員数 25名
- ・出席者 14名
- ・ビジター 0名
- ・ゲスト 0名



出席率内訳

- 当日出席数(20)
- 修正出席数(3)
- 欠席数(2)

修正出席率
92.0%

《目標出席率》
本例会50% 修正100%

◆ニコニコBOX◆ ￥13,000 累計総額 ￥319,480

・ちょうど半期、そして2014年も今日でロータリースケジュールが終了となり、感謝です。(尾関)・2014年、皆様と毎週お会いできご一緒させていただけて幸せな一年でした。どうもありがとうございました。Happy Holidays & A Happy NY!!(石渡)・今年もおつかれさまでした。よいお年を!(佐藤秀樹)・今年最後の例会、1年間ありがとうございました。(若山)・いつも出席できず申し訳ありませんでした。心は毎週火曜日こちらにあります!(波多野)・愛宕神社、良い朝でしたね。(丸山)

1月のプログラム

- 1/13(火)卓話:ゾマホン・イドゥス・ルフイン様(西アフリカ・ベナン共和国駐日特命全権大使)、9:00~理事会
- 1/20(火)イニシエーションスピーチ:丸山中会員(株式会社アットオール代表取締役、愛宕RC親睦ニコニコ委員長)
- 1/27(火)卓話:久木留毅様(公益法人日本オリンピック委員会・情報戦略部門長、専修大学文学部教授『2020年東京オリンピックに向けての日本のスポーツ行政の取り組み』(仮))
- ◆1/28(水)15:00~新会員セミナー<該当者のみ>

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL:03-3568-3827 / FAX:03-3568-3829 / E-mail:office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

